

佐賀県の農林水産業の概要

特徴・取組

佐賀県は九州の北西部に位置し、総土地面積が約2,400km²で、10市10町で構成されている。県北東部の脊振（せふり）山地は、北の玄界灘と南の有明海に向かって分水嶺をなし、有明海に面する南部は広大な佐賀平野を形成、豊かな農地で野菜や米が盛んに生産されている。

年間平均気温は16℃前後、年間降水量は山間部で約2,500mm、平野部や北部の玄界灘付近で1,800mm程度である。

佐賀県の産業構造をみると、農業や水産業に代表される第1次産業のウェイトが全国に比べ高い。製造業では陶磁器が伝統産業として有名だが、最近では半導体や自動車関連産業の集積が進んでいる。

県内総生産（名目）は、令和4年度で3兆1,489億円となっており、これを産業別にみると、第1次産業が800億円（構成比2.5%）、第2次産業が9,423億円（構成比29.9%）、第3次産業が2兆1,011億円（構成比66.7%）となっている。

佐賀県の農業は、温暖な気候や肥沃な土壌など、恵まれた自然条件を活かしながら、平坦地域では、米・麦・大豆をベースに、たまねぎ等の露地野菜を組み合わせた生産性の高い水田農業や、いちご・アスパラガスなどの施設野菜が展開され、中山間地域では、みかんやなし等の果樹経営や肉用牛をはじめとした畜産経営などが行われており、地域の特性に応じた多彩な農業を展開している。

耕地面積は4万9,200ha（令和7年）で、県の総面積の20%を占め、うち8割を占める水田においては、二毛作（夏期に米・大豆、冬期に麦類・たまねぎ）が盛んで、耕地利用率（田畑計）は133.7%（令和6年）と39年連続で全国1位である。

林野面積は11万223ha（令和7年）で、県の総面積の45%を占めている。人工林は林野面積の67%の7万3,527ha（令和7年）と全国1位で、広葉樹等からなる天然林は少ない。

有明海では、ノリ養殖が盛んで、玄界灘では、いか、あじ、さば等の漁獲、内湾では、魚類、真珠、かき類等の養殖が行われている。

「佐賀県『食』と『農』の振興計画2023」に基づき、「磨き、稼ぎ、未来へつながるさが農業・農村の実現」を目指す姿に掲げ、稼ぐ農業経営体の創出に向けた磨き上げや次世代の担い手の確保・育成、活力ある農村の実現に取り組んでいる。また、「さかの森林・林業ビジョン2023」に基づき、持続可能なさかの森林・林業の確立に取り組んでいる。

主な農林水産物

いちご

鮮やかな赤色と爽やかな甘みが特徴の新品種「いちごさん」が、H30年にデビューし、県内栽培面積の97%まで拡大している。（収穫量全国9位）



たまねぎ

白石地区を中心に甘みのあるたまねぎが生産されている。（収穫量全国2位）



アスパラガス

平坦部を中心に栽培され、全国的にも早い時期から出荷が開始。収穫量も全国トップクラスである。（収穫量全国2位）



茶

主産地の嬉野市は、「蒸し製玉緑茶（むしせいたまりよくちゃ）」を中心とした産地として知られている。希少性の高い「釜炒り茶」の産地でもある。



ハウスみかん

唐津地区での生産が多く、4月～9月に出荷されている。（出荷量全国1位）



肉用牛

「佐賀牛」は、全国有数の銘柄牛となっている。香港・シンガポール等へ輸出し、好評を得ている。



米

うるち米には、県ブランド「さがびより」や「夢しずく」などがある。もち米は、全国でも有数の産地の一つである。



二条大麦

水田における水稻の後作として作付けされている。主な品種は、品質・収量に優れた「はるか二条」である。（収穫量全国1位）



大豆

「フクユタカ」を中心に、ブロックローテーションにより効率的に生産されている。（収穫量全国4位）



ノリ（養殖）

栄養分の豊かな有明海で、高品質なノリが生産されている。（生産枚数全国2位）



佐賀県内の各地域における農林水産物

唐津・東松浦地域

【農畜産物】かんしょ、こねぎ、トマト、いちご、ハウスみかん、葉たばこ、肉用牛、豚、米
 【林産物】乾しいたけ
 【水産物】かたくちいわし、まあじ、さば類、えび類、いか類、ぶり類（養殖）、まだい、ふぐ類（養殖）、かき類（養殖）、真珠（養殖）

伊万里・西松浦地域

【農畜産物】きゅうり、ぶどう、日本なし、もも、うめ、キウイフルーツ、肉用牛、ブロイラー、米
 【林産物】乾しいたけ
 【水産物】はまち（養殖）、真珠（養殖）、くるまえび（養殖）、かき類（養殖）

鹿島・藤津地域

【農畜産物】みかん、ぶどう、キウイフルーツ、茶、豚、ブロイラー、米
 【林産物】乾しいたけ
 【水産物】このしろ、貝類、かき類、くらげ、シバエビ、ノリ（養殖）

佐賀中部・佐城地域

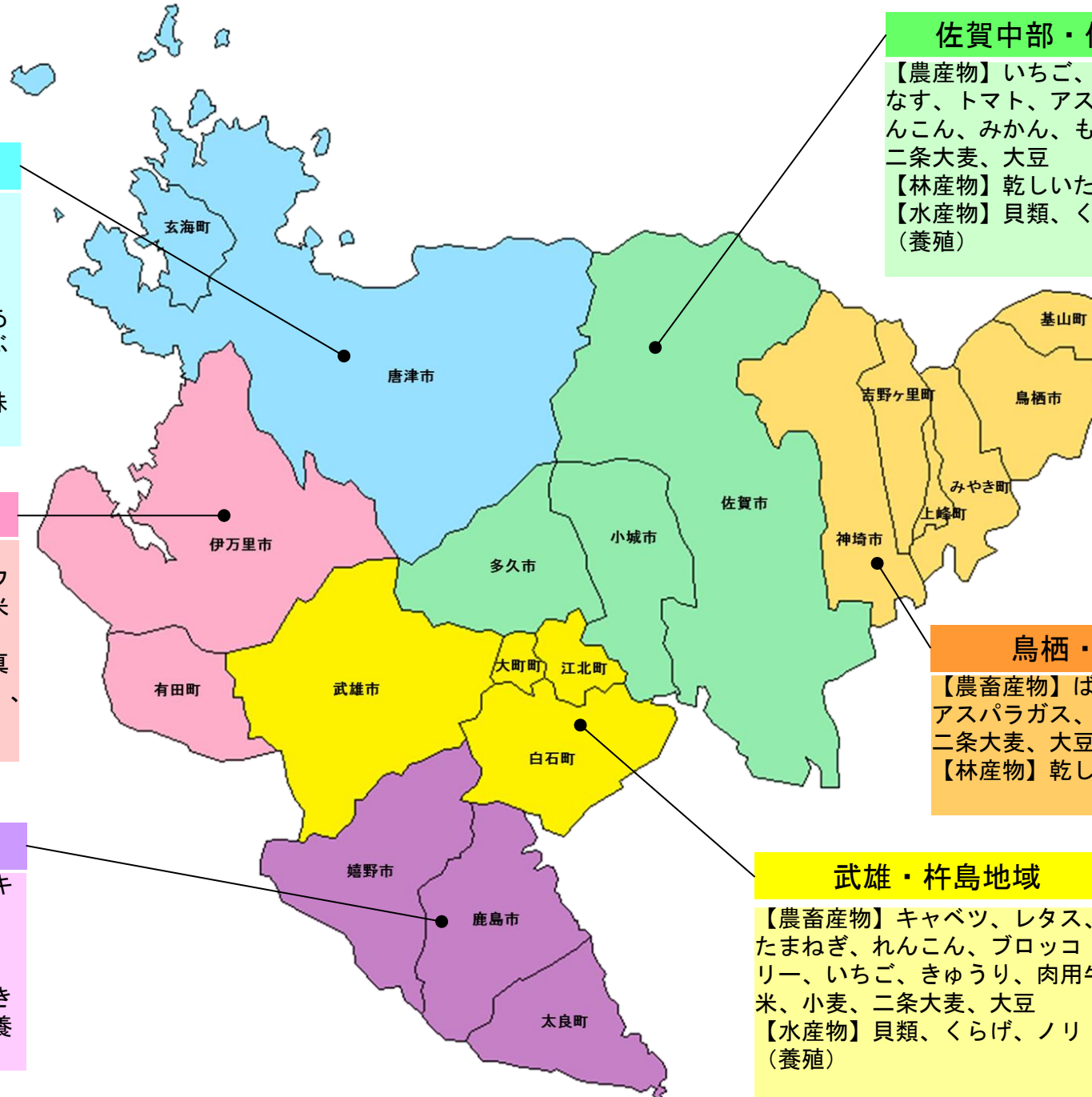
【農産物】いちご、ほうれんそう、なす、トマト、アスパラガス、れんこん、みかん、もも、米、小麦、二条大麦、大豆
 【林産物】乾しいたけ
 【水産物】貝類、くらげ、ノリ（養殖）

鳥栖・三神地域

【農畜産物】ばれいしょ、いちご、アスパラガス、乳用牛、米、小麦、二条大麦、大豆
 【林産物】乾しいたけ

武雄・杵島地域

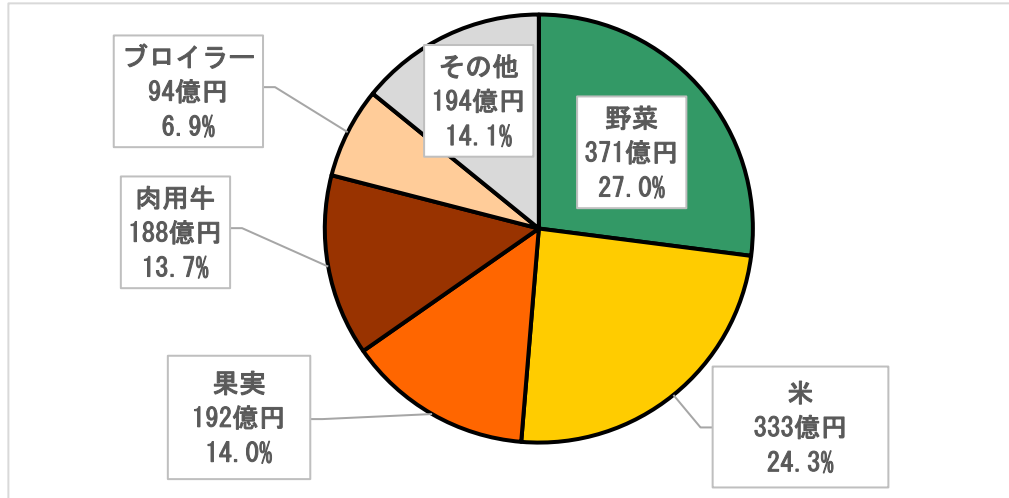
【農畜産物】キャベツ、レタス、たまねぎ、れんこん、ブロッコリー、いちご、きゅうり、肉用牛、米、小麦、二条大麦、大豆
 【水産物】貝類、くらげ、ノリ（養殖）



佐賀県の農業（1）

- ・農業産出額は1,372億円で全国27位。うち米が333億円（24.3%）、野菜が371億円（27.0%）、畜産が368億円（26.8%）。
- ・農畜産物の生産状況は、二条大麦が全国1位、たまねぎ、アスパラガスが2位、小麦が3位、大豆が4位、みかんが5位、ブロイラーが6位、いちごが9位。

農業産出額の概略



農畜産物の生産状況

区分	年次	佐賀県	全国	全国順位
水稻	収穫量	R7 129,600 t	7,790,000 t	23
二条大麦	収穫量	R7 44,500 t	152,900 t	1 *
小麦	収穫量	R7 45,500 t	1,031,000 t	3
大豆	収穫量	R6 9,090 t	252,400 t	4 *
たまねぎ	収穫量	R6 82,000 t	1,126,000 t	2
アスパラガス	収穫量	R6 1,990 t	22,300 t	2
いちご	収穫量	R6 5,790 t	156,600 t	9
みかん	収穫量	R6 29,400 t	559,600 t	5
肉用牛	飼養頭数	R7 50,800 頭	2,595,000 頭	14
ブロイラー	飼養羽数	R6 3,929 千羽	144,859 千羽	6

出典：「作物統計」、「野菜生産出荷統計」、「果樹生産出荷統計」、「畜産統計」

農業産出額のデータ

区分	佐賀県の農業産出額	全国の農業総産出額	全国順位
農業産出額	1,372 億円 (100.0)	107,801 億円 (100.0)	27
米	333 億円 (24.3)	25,524 億円 (23.7)	26
麦類	23 億円	582 億円	4 *
雑穀	0 億円	87 億円	36
豆類	10 億円	621 億円	9
いも類	6 億円	2,565 億円	41
野菜	371 億円 (27.0)	25,510 億円 (23.7)	24
果実	192 億円 (14.0)	10,112 億円 (9.4)	12
花き	40 億円	3,423 億円	28
工芸農作物	16 億円	1,577 億円	13
その他作物	8 億円	583 億円	17 *
畜産	368 億円 (26.8)	36,654 億円 (34.0)	27
肉用牛	188 億円	7,861 億円	11
乳用牛	17 億円	10,035 億円	42
生乳	16 億円	8,937 億円	43
豚	55 億円	7,567 億円	28
鶏	105 億円	10,170 億円	28
鶏卵	9 億円	5,764 億円	43
ブロイラー	94 億円	4,259 億円	9 *
その他畜産物	2 億円	1,021 億円	22
加工農産物	4 億円	565 億円	16

出典：「令和6年農業総産出額及び生産農業所得(全国)」、「令和6年農業産出額及び生産農業所得(都道府県別)」
注：() は農業総産出額及び農業産出額を100%とした割合である。

都道府県の農業、林業、漁業の表の見方

・令和8年3月31日時点における最新の統計等の公表データを使用

・表中に使用した記号は次のとおり

「O」：単位に満たないもの(例:0.4t→0t)

「-」：事実のないもの

「…」：調査を欠くもの

「x」：秘密を保護するため統計数値を公表しないもの。

「*」：秘密を保護するため統計数値を公表していない都道府県を除いた順位

佐賀県の農業（2）

- ・耕地面積は4万9,600haで全国28位。うち田が4万1,400ha、畑が8,180ha。
- ・農業経営体数は1万2,403経営体で全国31位。うち法人経営体数が390経営体で38位。
- ・国、市町村認定及び都道府県認定経営体数は3,537経営体で全国24位。うち法人数が297法人で36位。
- ・農業生産関連事業は、農家レストランの年間販売（売上）金額が10億円で全国13位、事業体数は20事業体で23位。

耕地面積

区分	佐賀県	全国	全国順位
耕地面積	49,600 ha	4,272,000 ha	28
田	41,400 ha	2,319,000 ha	20
畑	8,180 ha	1,952,000 ha	34
普通畑	4,080 ha	1,118,000 ha	38
樹園地	4,050 ha	248,600 ha	18
牧草地	51 ha	585,900 ha	40
参考) 総土地面積	2,440.64 km ²	377,979.74 km ²	42

出典：「令和6年耕地面積(7月15日現在)」、「令和8年全国都道府県市区町村別面積調(1月1日時点)」(国土交通省国土地理院)

荒廃農地面積

区分	佐賀県	全国	全国順位
荒廃農地面積	8,210 ha	256,667 ha	12

出典：「令和6年度の荒廃農地面積(令和7年3月31日現在)」

農業経営体数、農家数及び集落営農数

区分	佐賀県	全国	全国順位
農業経営体数	12,403 経営体	836,054 経営体	31
法人経営体数	390 経営体	33,819 経営体	38
総農家数	15,798 戸	1,394,135 戸	41
販売農家数	11,510 戸	792,808 戸	32
参考) 世帯総数	312,680 世帯	55,830,154 世帯	43
集落営農数	498 集落営農	13,952 集落営農	12

出典：「2025年農林業センサス(令和7年2月1日現在)」、「令和2年国勢調査」(総務省統計局)、「令和7年集落営農実態調査結果(令和7年2月1日現在)」

担い手への農地の集積状況

区分	佐賀県	全国	全国順位
担い手への集積面積	35,405 ha	2,627,068 ha	18
集積率	71.4 %	61.5 %	4

出典：「農地中間管理機構の実績等に関する資料(令和6年度版)」

基幹的農業従事者数及び認定農業者数

区分	佐賀県	全国	全国順位
基幹的農業従事者数	15,859 人	1,036,228 人	28
男	9,843 人	659,332 人	29
女	6,016 人	376,896 人	27
65歳以上	10,396 人	721,311 人	32
基幹的農業従事者数に対する65歳以上割合	65.6 %	69.6 %	-
国、市町村認定及び都道府県認定経営体数	3,537 経営体	212,136 経営体	24
法人数	297 法人	29,684 法人	36
参考) 人口総数	811,442 人	126,146,099 人	41

出典：「2025年農林業センサス(令和7年2月1日現在)」、「認定農業者の認定状況(令和7年3月末現在)」、「令和2年国勢調査」(総務省統計局)

農業生産関連事業の年間販売（売上）金額及び事業体数

区分	佐賀県	全国	全国順位	
農産加工	総額	15,785 百万円	1,006,107 百万円	21
	事業体数	250 事業体	26,910 事業体	44
農産物直売所	総額	17,429 百万円	1,134,381 百万円	31
	事業体数	180 事業体	20,960 事業体	39
観光農園	総額	184 百万円	39,113 百万円	40 *
	農業経営体数	30 経営体	4,350 経営体	37
農家民宿	総額	32 百万円	4,933 百万円	28 *
	農業経営体数	10 経営体	770 経営体	20
農家レストラン	総額	1,015 百万円	39,900 百万円	13 *
	事業体数	20 事業体	1,390 事業体	23

出典：「令和6年度6次産業化総合調査結果」

佐 賀 県 の 林 業

- ・ 林業産出額は17.5億円で全国40位。うち木材生産が16.2億円、栽培きのご類生産が1.0億円。
- ・ 林産物の生産状況は、素材生産量が全国33位、竹炭が全国4位、竹材が7位、わさび根茎が9位。

林業産出額

区 分	佐 賀 県	全 国	全国順位
林業産出額	17.5 億円	4,769.8 億円	40
木材生産	16.2 億円	2,369.4 億円	31
栽培きのご類生産	1.0 億円	2,322.7 億円	47

出典：「令和6年林業産出額」

林野面積

区 分	佐 賀 県	全 国	全国順位
林野面積	109,903 ha	24,744,214 ha	43
国有林	15,219 ha	7,117,059 ha	36
民有林	94,684 ha	17,627,155 ha	42
人工林面積	73,502 ha	10,059,386 ha	39

出典：「2025年農林業センサス(令和7年2月1日現在)」

林業経営体数

区 分	佐 賀 県	全 国	全国順位
林業経営体数	219 経営体	23,300 経営体	35
法人経営体数	38 経営体	3,813 経営体	35

出典：「2025年農林業センサス(令和7年2月1日現在)」

林産物の生産状況

区 分	佐 賀 県	全 国	全国順位
素材生産量	118 千m ³	19,763 千m ³	33
針葉樹	118 千m ³	18,398 千m ³	33
ひのき	55 千m ³	3,019 千m ³	21
すぎ	63 千m ³	11,716 千m ³	35
広葉樹	0 千m ³	1,365 千m ³	46
竹炭	生産量 8 t	642 t	4 *
生きくらげ類	生産量 27 t	1,693 t	19 *
竹材	生産量 10 千束	879 千束	7
わさび根茎	生産量 3 t	434 t	9

出典：「令和6年木材統計」、「令和6年特用林産基礎資料」

製材工場数

区 分	佐 賀 県	全 国	全国順位
製材工場数	43 工場	3,547 工場	38
製材用素材の入荷があった工場数	43 工場	3,492 工場	38
国産材のみ	32 工場	3,013 工場	40
国産材と輸入材	11 工場	386 工場	11

出典：「令和6年木材統計」

佐賀県の水産業

- ・漁業産出額のうち、海面漁業・養殖業産出額は341億円で全国15位。
- ・水産物の生産状況は、海面漁業のえび類が全国1位、このしろが6位、海面養殖業のくろのりが2位、まあじ、ふぐ類が5位。
- ・漁業生産関連事業は、水産物直売所の年間販売（売上）金額が6億円で全国19位、事業体数は10事業体で18位。

漁業産出額

区分	佐賀県	全国	全国順位
海面漁業・養殖業産出額	341億円	14,785億円	15
海面漁業	42億円	8,894億円	32*
海面養殖業	299億円	5,891億円	7*

出典：「令和6年漁業産出額」

漁業経営体数

区分	佐賀県	全国	全国順位
海面漁業経営体数	1,317経営体	65,662経営体	20
内水面漁業経営体数	10経営体	4,076経営体	45

出典：「2023年漁業センサス(令和5年11月1日現在)」

漁業就業者数

区分	佐賀県	全国	全国順位
海面漁業就業者数	2,965人	121,389人	14
男	2,458人	109,757人	18
女	507人	11,632人	10

出典：「2023年漁業センサス(令和5年11月1日現在)」

漁船隻数

区分	佐賀県	全国	全国順位
漁船隻数	3,911隻	109,284隻	11
動力漁船	1,695隻	58,907隻	13

出典：「2023年漁業センサス(令和5年11月1日現在)」

水産物の生産状況

区分	佐賀県	全国	全国順位
海面漁業・養殖業生産量	48,636 t	3,589,121 t	19*
海面漁業漁獲量	4,321 t	2,786,195 t	36
えび類	1,838 t	10,596 t	1
このしろ	64 t	3,756 t	6*
海面養殖業収穫量	44,315 t	802,927 t	7*
くろのり	42,660 t	186,896 t	2
まあじ	5 t	553 t	5*
ふぐ類	183 t	2,758 t	5*
内水面漁業・養殖業生産量	5 t	47,046 t	42*
内水面漁業漁獲量	5 t	17,915 t	34
内水面養殖業収穫量	0 t	29,131 t	46

出典：「令和6年漁業・養殖業生産統計」

漁業生産関連事業の年間販売（売上）金額及び事業体数

区分	佐賀県	全国	全国順位
水産加工	総額	2,616百万円	193,147百万円
	事業体数	20事業体	1,160事業体
水産物直売所	総額	618百万円	34,259百万円
	事業体数	10事業体	780事業体
漁家民宿	総額	35百万円	5,440百万円
	漁業経営体数	10経営体	540経営体
漁家レストラン	総額	73百万円	13,511百万円
	事業体数	10事業体	380事業体

出典：「令和6年度6次産業化総合調査結果」

佐賀県の農林水産業の話題等（1）

「さが園芸888運動」推進の加速化

園芸部門の産出額を令和10年に888億円に増加させることを目指し、県ではJAや市町と一体となって、園芸団地の整備や露地野菜の生産拡大などを行う「さが園芸888運動」を展開している。

県内産地では、いちご、アスパラガス、きゅうり等の施設園芸が盛んであり、中でもきゅうりは、統合環境制御システムの導入が進んでおり、通常の作型に比べ収量が約1.5倍から2倍高い。

いちごは、平成30年に鮮やかな赤色と爽やかな甘みが特徴の新品種「いちごさん（佐賀i9号）」がデビューし、現在、県内の97%まで栽培面積を拡大している。

かんきつでは、佐賀県が20年以上の歳月をかけて品種開発した中晩柑の「にじゅうまる（佐賀果試35号）」が、令和3年にデビューした。食べ応えのある大きさや爽やかな香りで貯蔵性にも優れることから、今後の生産拡大に期待が寄せられている。

また、企業法人による農業参入を推進するための専門チームを発足し、農地の紹介や補助事業による支援を通じて、これまでに6件の企業法人が、農業参入や規模拡大を決定している。



H30にデビューした「いちごさん」



R3にデビューした「にじゅうまる」



無加温ハウスで栽培されている「にじゅうまる」



農業参入フェアの様子

条件の良い水田をフルに活用した農業の推進

平坦地域の水田では、区画・排水等の生産基盤、共同乾燥調製施設等の整備等が進み、条件の良い水田を活用して、米・麦・大豆を組み合わせた生産性の高い土地利用型農業が展開されている。

また、集落営農組織等の担い手への農地利用集積が進み、機械・施設の有効利用等により低コスト生産を実現し、二毛作等による耕地利用率は133.7%（令和6年）と39年連続で全国1位である。

更なる麦・大豆の収量増と品質確保対策や農地利用の集積から集約化に向けたステップアップなどが課題となっている。



R7にデビューした「ひなたまる」



食味ランキング16年連続「特A」を獲得

佐賀県の農林水産業の話題等（2）

中山間地域の振興

県北部の中山間地域では、条件の不利性等から担い手不足の問題を抱えているため、県は「さかの元気な中山間地域づくり対策」により特色のある高品質な果樹や野菜等の生産拡大や米づくりなど農林業関係事業の拡充で後押しを行っている。また、棚田地域振興法に基づき、棚田を核とした振興にも取り組んでいる。



わらびの
蕨野の棚田



浜野浦の棚田

農林水産物等の輸出促進

J Aグループ佐賀のブランド牛である「佐賀牛・佐賀産和牛」は、佐賀県高性能食肉センター「かけはしKAKEHASHI」からの輸出開始により、米国、タイ、シンガポール、台湾などの国・地域への輸出促進が一層図られている。

【輸出実績：16.4トン（平成21年度）⇒ 94.8トン（令和6年度）】

日本酒（佐賀酒）は、佐賀県酒造組合が中心となって関係機関と連携し、アジアや欧米地域を中心に輸出に取り組んでいる。



佐賀牛



The SAGA 認定酒

新規就農者の育成：「トレーニングファーム」の取組

県内の新規就農者を育成するため、J A、佐賀県、市町など関係機関が連携し、地域が重点的に振興する園芸品目による就農を希望する者に、研修ハウス「トレーニングファーム」での栽培技術研修や経営ノウハウ等の習得のための座学研修を平成29年度から実施しており、これまでに91名を受け入れている。

また、研修後の就農に向け、農地、施設の確保まで含めたサポートを行っており、研修生のほとんどが地域に就農している。



トレーニングファームでの研修の様子

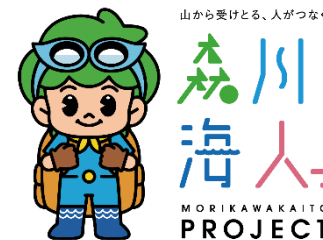
有明海のノリ養殖と森・川・海をつなぐ取組

有明海は、干満の差が最大6mと大きく、大小さまざまな河川が湾内に流入し、栄養分が豊かな漁場となっている。このような特徴を生かし、ノリ養殖が盛んに行われており、販売枚数・金額は全国2位となっている。

県民の暮らしは、森・川・海つながりで守られていることを認識してもらい、植樹体験や稚魚放流などの保全活動につなげていく「森川海人っプロジェクト」に取り組んでいる。



有明海とノリ養殖



もりかわかいと
森川海人っプロジェクト